

令和4年度
中学校教育課程研究協議会
総合的な学習の時間

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 2 指導と評価の一体化
- 3 グループ別協議

令和4年7月15日（金）
オンライン開催

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

環境に関する問題！？

愛理さんは、総合的な学習の時間に環境問題について調べています。調べたところ、世界が目指す持続可能な開発目標（SDGs）として、17の目標の中に「気候変動に具体的な対策を」という目標があることを知りました。愛理さんの学級では、この目標に対してできることがないかを話し合い、二酸化炭素の削減に取り組むことにしました。取り組みの参考にするために、ほかの学校の取り組みを調べたところ、となり町の中学校のホームページを見つけました。

となり町の中学校のホームページにあった情報

私たちの取り組みの成果

参加した生徒数 86人

取り組み期間 14日間

家庭での二酸化炭素削減量の合計 300kg

$\left(\begin{array}{l} \text{二酸化炭素} \\ 300\text{kg} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{l} \text{杉の木約20本が1年間に} \\ \text{吸収する二酸化炭素の量} \end{array} \right)$



問題を
解いてみ
ましょう。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

そこで、愛理さんの学級では生徒30人で、「二酸化炭素300kgの削減」を目標とすることにしました。この学級の目標を達成するために、家庭でできる二酸化炭素削減の取り組みと削減量について調べました。

家庭でできる二酸化炭素削減の取り組み

取り組み	二酸化炭素削減量
冷房をつけている時間を1時間短くする。	25 g
シャワーを浴びている時間を1分間短くする。	79 g
部屋の電気をつけている時間を1時間短くする。	23 g
テレビを見ている時間を1時間短くする。	23 g
⋮	⋮

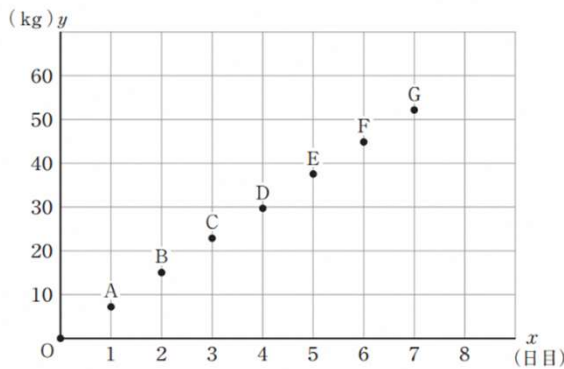
そして、家庭でできる二酸化炭素削減の取り組みの中から、生徒それぞれの家庭でできることを選んで取り組むことにしました。その取り組みの成果について、1日ごとの学級30人分の削減量をもとに、その日までの二酸化炭素削減量の合計を記録することにしました。～

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

二酸化炭素削減量の合計の記録

x (日目)	0	1	2	3	4	5	6	7
y (kg)	0	7.2	15.2	22.8	29.7	37.8	44.9	52.4

※ y の値は小数第2位を四捨五入



～このまま同じように取り組みを続け、二酸化炭素削減量の合計が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。

このとき、目標の300kg削減を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

伝統文化に関する問題！？

総合的な学習の時間で、
地元の伝統工芸である
「焼き物」について調べている青木さんのグループは、「ふるさと焼き物館」で焼き物作りの体験をしたいと考え、担当者とメールのやりとりをしています。次は、青木さんが送信した【一回目のメール】、【担当者からの返信メール】、青木さんが返信する【二回目のメールの下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

宛先: △△△△@△△△△.△△.jp
件名: 焼き物作りの体験について

2021/05/12

ふるさと焼き物館 御中

初めてメールを差し上げます。
第一中学校3年の青木太郎と申します。
私たちは、今、学校の授業で地元の伝統工芸である焼き物について学んでいます。地元の土や製法には、他の焼き物にはない特徴があることにとても興味をもっています。調べていく中で、ふるさと焼き物館で焼き物作りの体験ができることを知り、地元の焼き物についての理解を深めるためにも、実際に作ってみたいと考えました。
できましたら、6月16日（水）の午後に4名で体験したいのですが、まだ受け付けているコースがあれば教えてください。
よろしくお願いたします。

第一中学校 青木 太郎

青木さんが送信した【一回目のメール】

問題を解いてみましょう。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

宛先: △△△△@△△△△.△△.jp
件名: Re: 焼き物作りの体験について

2021/05/13

第一中学校 青木 太郎 様

ふるさと焼き物館の前田です。焼き物に興味をもってくださり大変うれしく思います。ご希望の6月16日（水）の午後は、以下のコースの受付が可能です。

〈Aコース〉粘土を伸ばして板状にし、皿を作ります。
①

〈Bコース〉ろくろ台（回転台）を用いて花瓶を作ります。
②

ご希望のコースとそれぞれの参加人数が決まりましたら、メールでお知らせください。どちらのコースも14時から開始しますので、遅れないようにいらっしゃってください。

なお、地元の土や製法の詳細については、当日ご説明しますが、他にも知りたいことがありましたら、体験中に随時お尋ねになってください。
③
ご連絡をお待ちしております。

ふるさと焼き物館 前田 花子

【担当者からの返信メール】

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

青木さんは、【二回目のメールの下書き】の□の部分に、事前に確かめておきたいこととして、次の〈確認事項〉について書こうとしています。あなたならどのように書きますか。書き出しの「なお、」に続けて、相手に失礼のないように書きなさい。～

〈確認事項〉

- ・持ち物と服装について
- ・写真撮影の許可について

2つの問題から感じたことを交流してみましょう。

宛先: △△△△@△△△.△△.jp
件名: Re: Re: 焼き物作りの体験について

2021/05/14

ふるさと焼き物館 前田 花子 様

第一中学校の青木です。ご返信くださりありがとうございます。
希望のコースと人数ですが、Aコース2名、Bコース2名でお願いいたします。当日は開始時刻の10分前に行く予定です。

なお、

第一中学校 青木 太郎

青木さんが送信する【二回目のメールの下書き】

令和3年度 全国学力・学習状況調査 中学校第3学年 国語

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

総合的な学習の時間の特質

年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようになること。その際、生徒や学校、地域の実態等に応じて、生徒が探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習を行うなど創意工夫を生かした教育活動の充実を図ること。

中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 3 5頁 第4章 第1節 1-1 (1)

- ・「探究的な見方・考え方」を働かせる
- ・横断的・総合的な学習を行う

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

総合的な学習の時間の特質

- ・「探究的な見方・考え方」を働かせる
各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける。
- ・横断的・総合的な学習を行う
教科等の枠を超えて探究する価値のある課題について、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組んでいく。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

深い学び

「深い学び」については、**探究的な学習の過程**を一層重視し、これまで以上に学習過程の質的向上を目指すことが求められる。探究的な学習の過程では、各教科で身に付けた「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を活用・発揮する学習場面を何度も生み出すことが期待できる。それにより、**各教科で身に付けた「知識及び技能」は関連付けられて概念化し、「思考力、判断力、表現力等」は活用場面と結び付いて汎用的なものとなり、多様な文脈で使えるものとなる**ことが期待できる。

また、このように充実した学習の過程において、生徒は手応えをつかみ前向きで好ましい感覚を得ることが期待できる。そのことが、更なる学習過程の推進に向かう安定的で持続的な意志を涵養していく。

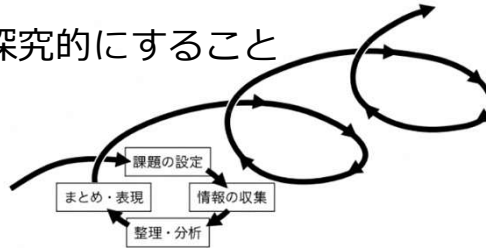
中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 108頁 第7章 第2節3

深い学び = 資質・能力が汎用的なものとなる

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

探究的な学習の指導のポイント

- ・ 学習過程を探究的にすること

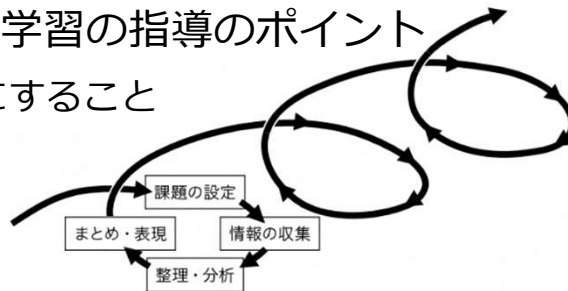


- ・ 他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

探究的な学習の指導のポイント

学習過程を探究的にすること



- ①課題の設定
体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②情報の収集
必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③整理・分析
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④まとめ・表現
気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

探究的な学習の指導のポイント

他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

①多様な情報を収集に触れる

情報の多様さと多さは、整理や分析を質的に高める。

②異なる視点から検討ができる

異なる視点や異なる考え方があることの方が、深まる。

③相手意識を生み出したり、仲間意識を生み出したりする

共に学ぶことが個人の学習の質と集団の学習の質を高める。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

単元の構想

第1小単元「働くなって何だろう？」

課題の設定	<ul style="list-style-type: none">・職場体験の発表会で浮かび上がった疑問や、指摘されて見えてきた課題から出発しよう。・課題の広がりや予想されるから、それぞれの課題に応じた「講座」を開設しよう。・自分の課題の内容に近い「講座」を選べるように、生徒の課題を事前に整理して、開設する講座を決めよう。
情報の収集	<ul style="list-style-type: none">・課題の解決に見通しをもつことができるように、調査項目をきちんと決め、情報収集の都度、整理できるようにしよう。・専門家の方から話を聞いたり、地域の方にインタビューをしたりして情報収集できるように校外学習の時間を計画しよう。・校外学習で収集したい情報は何か、見通しをもって計画できるようにしよう。
整理・分析	<ul style="list-style-type: none">・収集した情報を、情報の質や明らかにしたい課題に応じて適切な方法で整理・分析できるようにしよう。・わかったことを課題に照らして、比較、分類、関連付けすることによって、分析しながら考察できるようにしよう。・更に必要な情報があったら、メールや電話で質問して、情報を追加できるようにしよう。
まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none">・生徒一人一人の成果や課題について、発表会の機会を設定して、相互理解できるようにしよう。その中で、新たな課題を見いだせるようにしよう。・講座ごとの探究で学んだことを、自分の将来の職業生活を描いたライフプランの構想につなげたいね。また、地域の職場体験や専門家の方の話もとても参考になったので、ぜひ、まとめたものを届けたいね。

→ 第2小単元「私のライフプラン」

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

単元の構想

第1小単元「 _____ 」

年間指導計画から1つの単元(小単元)を選んで、下の構想表に書き入れてみましょう。

課題の設定	・
情報の収集	・
整理・分析	・
まとめ・表現	・

→ 第2小単元「 _____ 」

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

I C T の活用

探究的な学習の過程においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるよう工夫すること。その際、**情報や情報手段を主体的に選択し活用**できるよう配慮すること。

中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 5 1 頁 第4章 第2節 2 (3)



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科等の関連

- ← 社会科の資料活用の方をを生かして情報を収集する。
- ← 数学科の統計の手法でデータを整理する。
- ← 国語科で学習した文章の書き方を生かして分かりやすいレポートを作成する。
- ← 理科で学んだ生物と環境の学習を生かして、地域に生息する生き物の生態系を考える。
- 総合的な学習の時間で行った体験活動を生かして、国語科の時間に案内状や御礼状を書く。
- 総合的な学習の時間で食や健康に関心をもち、技術・家庭科における栄養を考えた食事や快適な住まい方の学習に前向きに取り組む。
- 総合的な学習の時間で福祉・健康について学んだことの成果を生かして、保健体育科における学習に深まりと広がりを生み出す。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

単元配列表

年間指導計画（第3学年）		4月	5月	6月	7月・8月	9月	10月	11月	12月
総合的な学習の時間 (70)		日々の暮らしを支えるエネルギー問題について考えよう (25 時間) ○ 日々の暮らしを支える電力の発電方法について調べる。 ○ 様々な発電方法のメリット・デメリットについて調べる。				エネルギー問題の解決に向け、自分たちができる取組について考えよう。(30 時間) ○ エネルギー問題を解決するために、自分たちにできる事を考え、実行する。			
国語 (105)	評価し、聞く	から	論語漢文	読得力のある構成を考える 実用的な文章	伝える、和語、漢語、 現、来語、漢語	読得力のある批評文を書く 合意形成にむけて話し合う	読得力のある批評文を書く 合意形成にむけて話し合う	奥の細道 古典	情報を読み取って文章を書く
社会 (140)	近代日と世界	現代の日本と世界	私達の暮らしと現代社会 個人を尊重する日本国憲法		私連	暮らしと民主政治	私連の暮らしと経済		安心して暮らせる社会
数学 (140)	式の関と因数分解	平方根	二次方程式		関数	図形と相似			円の性質
理科 (140)	運動とエネルギー		生命の連続性			化学変化とイオン	地球と宇宙		科学技術と人間 自然と人間
外国語 (140)	受けの文	ディスカッションをしよう。	現在完了 現在完了進行形		現在と過去の相違点を上げよう	関係代名詞	世界のちが	世界のために私ができること	自分の意見を伝えよう。
美術 (35)	わかりやすく情報を伝える		環境と共に生き彫刻 ゲルニカ明日への願い		環境と共に生き彫刻 ゲルニカ明日への願い		地域の魅力を伝える		
保健体育 (105)	からだ作り運動	選択1 器械運動、陸上競技	ダンス	選択2 水泳	選択3 球技 武道				

文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）」

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

単元配列表

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
総合的な学習の時間											
国語											
社会											
数学											
理科											
音楽											
美術											
技術・家庭											
保健体育											
外国語											

年間指導計画から1つの単元を選んで、各教科等の関連を書き出してみましょう。

2 指導と評価の一体化

各学校において定める内容

各学校において定める内容

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
現代的な諸課題に対応する 横断的・総合的な課題 地域や学校の特色に応じた課題 生徒の興味・関心に基づく課題 職業や自己の将来に関する課題	知識及び技能 他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする	思考力、判断力、表現力等 探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにする	学びに向かう力、人間性等 自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる

何について学ぶか

どのようなことができるようになるか

2 指導と評価の一体化

探究課題の例

四つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観（国際理解） ・情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化（情報） ・地域の自然環境とそこに起きている環境問題（環境） ・身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々（福祉） ・毎日の健康な生活とストレスのある社会（健康） ・自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題（資源エネルギー） ・安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々（安全） ・食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者（食） ・科学技術の進歩と社会生活の変化（科学技術） <p style="text-align: right;">など</p>
地域や学校の特徴に応じた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織（町づくり） ・地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々（伝統文化） ・商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会（地域経済） ・防災のための安全な町づくりとその取組（防災） <p style="text-align: right;">など</p>
生徒の興味・関心に基づく課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの面白さや工夫と生活の発展（ものづくり） ・生命現象の神秘や不思議さ、そのすばらしさ（生命） <p style="text-align: right;">など</p>
職業や自己の将来に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の選択と社会への貢献（職業） ・働くことの意味や働く人の夢や願い（勤労） <p style="text-align: right;">など</p>

2 指導と評価の一体化

単元で扱う探究課題と具体的な資質・能力

探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付く。 ・目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集できる。 ・地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもつことができる。 ・課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。 ・課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察することができる。 ・地域の職場や専門家の方など、相手や目的に応じて、わかりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通し、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組む。 ・自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。 ・地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分にできることを見付けようとする。

2 指導と評価の一体化

評価の進め方

1 単元の目標を作成する



2 単元の評価規準を作成する



3 「指導と評価の計画」を作成する



授業を行う



4 総括する

2 指導と評価の一体化

単元の目標

地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通して、地域の方々の仕事に対する姿勢や願いを理解し、働くことの意味や価値について自分の将来と結び付けて考えるとともに、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組むことができるようにする。

- ・～を通して（探究課題を踏まえた単元において中心となる学習対象や学習活動）、
- ・～について理解し・～に気付き（具体的な資質・能力のうち、単元において重視する「知識及び技能」）、
- ・～を考え（具体的な資質・能力のうち、単元において重視する「思考力、判断力、表現力等」）、
- ・～に進んで取り組む・～しようとする・～に生かす（具体的な資質・能力のうち、単元において重視する「学びに向かう力、人間性等」）。

年間指導計画から1つの単元を選んで、目標を見直してみよう。

2 指導と評価の一体化

単元の評価規準

単元名	単元の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
未来の自分に近づこう	①働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付いている。 ②目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集している。 ③地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもっている。 ②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積している。 ③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察している。 ④地域の職場や専門家の方など、相手や目的に応じて、わかりやすく表現している。	①地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通し、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ②自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ③地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。

2 指導と評価の一体化

「単元の評価規準」の作成のポイント

単元名	単元の評価規準	
	知識・技能	
未来の自分に近づこう	①働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付いている。 ②目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集している。 ③地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> 概念的な知識の獲得 (①) 自在に活用することが可能な技能の獲得 (②) 探究的な学習のよさの理解 (③) の3つに関する評価規準を作成する。
		【知識】 ・事実に関する知識を関連付けて構造化し、統合された概念的な知識を獲得している生徒の姿を設定する。 【技能】 ・身に付いた技能が、いつでも、滑らかに、安定して、素早く行われているなどの生徒の姿を設定する。 【探究的な学習のよさの理解】 ・「資質・能力の変容を自覚すること」、「学習対象に対する認識が高まること」、「学習が生活とつながること」などを、探究的に学習してきたことと結び付けて理解している生徒の姿を設定する。

2 指導と評価の一体化

「単元の評価規準」の作成のポイント

単元名	単元の評価規準	
	思考・判断・表現	
未来の自分に近づこう	①地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の設定 (①) ・情報の収集 (②) ・整理・分析 (③) ・まとめ・表現 (④) の過程で育成される資質・能力を生徒の姿として示して、評価規準を作成する。
	②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積している。	
③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察している。		
④地域の職場や専門家の方など、相手や目的に応じて、わかりやすく表現している。		
		【課題の設定】例 ・複雑な問題状況の中から課題を発見し設定する ・解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てる 【情報の収集】例 ・情報を効率的に収集する手段を選択する ・必要な情報を多様な方法で収集し、種類に合わせて蓄積する 【整理・分析】例 ・異なる情報の共通点や差異点を見つけ、関係や傾向を明らかにする ・事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠をもつ 【まとめ・表現】例 ・相手や目的に応じて効果的な表現をする ・学習を振り返り、自己の成長を自覚し、学習や生活に生かす

2 指導と評価の一体化

「単元の評価規準」の作成のポイント

単元名	単元の評価規準	
	主体的に学習に取り組む態度	
未来の自分に近づこう	①地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通し、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を尊重する「自己理解・他者理解」 (①) ・自ら取り組んだり力を合わせたりする「主体性・協働性」 (②) ・未来に向かって継続的に社会に関わろうとする「将来展望・社会参画」 (③) などについて育成される資質・能力を生徒の姿として示して、評価規準を作成する。
	②自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。	
	③地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分ができることを見つけようとしている。	
		「粘り強さ」や「学習の調整」 【自己理解・他者理解】例 ・自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする ・異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする 【主体性・協働性】例 ・自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組む ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組む 【将来展望・社会参画】例 ・自己の生き方を考え、夢や希望をもち続ける ・実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組む

2 指導と評価の一体化

指導と評価の計画

	ねらい・学習活動（時数）	知	思	態	指導のポイント等
働くって何だろう？	・働くことの意味について考えるための個人課題を設定する。		①		・職場体験で抱いた疑問や芽生えた興味・関心を全体で共有して、個人課題を考えるきっかけとする。
	・課題を解決するために、複数の専門家の講話を聞く。 ・自分の課題を解決するために必要な情報は何かをまとめる。		②		・専門家の方の様々な生き方を聞くことによって、その方の職業観や勤労観に着目させ、仕事を通じたやりがいや生きがいについて理解できるように指導する。
	・校外学習で情報を収集する。 ・課題を解決するために、収集した情報を整理・分析する。	②		②	・校外学習で計画的に情報を収集できるように、事前に課題の解決に必要な情報を考えさせたり、適切な情報を収集する手段を選択させたりする。
	・発表会で、課題の解決を通して考えたことや感じたことを発表する。 ・発表について意見交換をする。 ・発表に対する指摘や疑問点を整理し、今後の活動の見通しをもつ。		④		・考えや体験した時の気持ちなどを適切な言葉で表現するように指導する。 ・考えを発表したり、やり取りしたりすることによって、自分の職業観が芽生えてくるように指導する。
私のライフプラン	・自己の生き方を考えるために、知りたいことや疑問を整理し、個人課題を考える。			①	・講話を聞いた専門家の方のプロ意識、職業生活、こだわりなどに着目させ、人生設計に係る課題へと導く。
	・課題の解決に向けて、職場体験で出会った方や専門家、家族や地域の方々などとやり取りする。 ・回答への質問を基に、気付いたことや考えたことをまとめる。	①	③		・課題の解決のための適切な情報の収集ができるように指導する。
	・「私のライフプラン」を設計する。 ・これまでに関わった地域の方々へ自分の学んだことをまとめて届ける。	③		③	・働くことの意味や価値の理解と、自分の将来とのつながりが意識できるように指導する。 ・地域の方々との関わりを深められるよう配慮する。

2 指導と評価の一体化

様々な評価の方法

評価の方法	説明
観察による評価	発表や話し合い・討論の様子、学習や活動の状況などを学習活動の過程を通じて観察に基づき評価する方法である。生徒の行動や発言、表情や動作、エピソードなどを評価資料とするには、観察記録簿（観察票やチェックリスト等）を用い、情報を蓄積しておくことが大切である。
制作物による評価	レポート・論文、ワークシート、ノート、作文及びプレゼンテーション資料、作品及びポスター制作物（結果）並びにその制作過程を通して評価する方法である。
ポートフォリオによる評価	学習活動の過程や成果などの記録や作品を生徒が主体的・計画的に集積したポートフォリオを基にした評価方法のことである。活動計画表や自己評価の記録、取材メモや感想、教師や友達、保護者や地域の人のコメント、写真や報告書などを資料として集積する。

2 指導と評価の一体化

様々な評価の方法

評価の方法	説明
パフォーマンス評価	一定の課題の中で身に付けた力を用いて活動することを通して、その力がどのように発揮されるかを評価する方法のことである。課題解決の場面において、身に付けた力を複合的に活用する姿を見取る評価ともいえる。
自己評価や相互評価	自己評価とは、評価カードや学習記録などから、生徒が自らの学習の状況を振り返ることによる評価である。相互評価とは、生徒が互いの学習状況を評価し合うものである。
第三者評価	保護者や地域の人々、有識者、活動の相手等による評価のことである。
個人内評価	観点別学習状況の評価や評定には示しきれない生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するものである。

それぞれの評価方法について効果と留意点を挙げてみましょう。

3 グループ別協議

〈協議題1〉ICTの活用と授業改善

- (1) 単元指導計画と学習展開の概要の説明
- (2) ICTの活用のメリット
- (3) ICTの活用にあたっての配慮事項
- (4) その後の評価と授業改善に、どのようにつなげたか。(つなげるか。)

〈協議題2〉体験活動の充実と授業改善

- (0) 「岐阜県ふるさと教育」指導資料の確認 ←
- (1) 活用している県内施設と体験活動の内容
- (2) 学習全体の構想



「岐阜県ふるさと教育」指導資料

本日の研修を受けて、
今後、授業改善として取り組みたいこと